

校長挨拶

本校のホームページを御覧いただきありがとうございます。

本校は、昭和37年にここ葛飾堀切の地に開校し、令和4年度に創立60周年を迎えました。60年という節目は人であれば還暦にあたります。十二支と十干が一巡し、「めぐり生まれた時と同じ暦に還れる」という意味で「還暦」と言われますので、長い歴史を積み重ねてきたことがわかります。本校の保護者をはじめ、近隣にお住いの皆様、交流校及び関係機関の皆様の御理解と御支援に支えられ、今日があることを、あらためて心から感謝申し上げます。

さて、令和6年度は新入生9名を含む、幼稚部5名、小学部12名、中学部12名の在籍でスタートいたしました。本校が目指す教育として掲げる「自立と自律を目指して～一人一人の可能性を広げ、主体性を高める学校～」を実現するため、視覚障害教育の専門性の維持・継承・発展に努めながら、幼児・児童・生徒が希望をもってキャリア形成できるよう支援してまいります。

教職員は、校長として岩下桂郎、副校長として近藤美紀、経営企画室長として熊谷教昭が継続となりました。一方、学部や寄宿舎などには人事異動があり、新しい教職員が配置されています。良い伝統を残しつつ、新しい風を取り入れるよう学校経営を進めてまいります。

今年度、葛飾盲学校は63年目の新たな年を迎えました。引き続き、視覚障害のある幼児・児童・生徒が通う特別支援学校として専門性の高い指導を行うと同時に、インクルーシブ教育の推進、医療的ケア児への支援、一人一台端末の積極的な利活用など、今日的な課題に対応する使命を果たすため、教職員が一丸となり幼児・児童・生徒の成長を支え、地域に貢献してまいります。

今後も、変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

学校の取り組みについては、ホームページやその他の手段を通じてお伝えしてまいります。折に触れ、御覧いただけましたら幸いです。

令和6年4月1日

東京都立葛飾盲学校長

岩下桂郎